

「偉大な大祭司イエス・キリスト③」

ヘブル書 5章2、7～8節

大祭司は、自分自身も弱さを
身にまもっているの

で、迷っている人々に

優しく接する(思いやる)ことができます。

(3～6節 省略)

キリストは、肉体をもって生きている間
自分を死から救い出すことができる方に
向かって

大きな叫び声と涙をもって

祈りと願いをささげ

その敬虔のゆえに、聞き入れられました。

キリストは、御子であられるのに

お受けになった様々な苦しみによって

従順を学び…

ヘブル5章のポイント

I. イエス・キリストは、より優れた称号を持たれた
(4:14~16)

II. イエス・キリストは、より優れた地位を持たれた
(5:1、4~6)

III. イエス・キリストは、より優れた同情を示された
(5:2、7~8)

IV. イエス・キリストは、より優れた犠牲を献げられた
(5:3、9~10)

本日のポイント

Ⅲ. イエス・キリストは、より優れた同情を示された
(5:2、7~8)

A. 大祭司となる条件 「同情・思いやり」(2)

B. 大祭司なるイエス・キリストの模範(7~8)

Ⅲ. イエス・キリストは、より優れた同情を示された
(5:2、7~8)

A. 大祭司となる条件 「同情・思いやり」(2)

① 罪人(相手)を**思いやる**ことができる

（人間の）大祭司は

自分自身も弱さを

身にまどっているの

無知で、迷っている人々に

優しく接する（思いやる）ことができてきます。

優しく接する(思いやる)の意味

いらだたず、忍耐して

人に接することのできる能力

相手の過ちを、怒らず

相手の気持ちを、理解し

その人を正しい道に連れ戻そうとする姿勢

兄弟たち。

もしだれかが

何かの過ちに陥っていることが分かったなら

御霊の人である、あなたがたは

柔和な心で、その人を**正**してあげなさい。

ガラテヤ 6章 1節

御霊の実(単数形)は

愛 喜び 平安

寛容 親切 善意

誠実 柔和 自制 です。

このようなものに

反対する(禁ずる)律法はありません。

ガラテヤ5章22〜23節

御霊の実(単数形)

愛喜び 平安 …… **神**との関係

寛容 親切 善意 …… **人**との関係

誠実 柔和 自制 …… **自分**との関係

また、ぶどう酒(酒)に酔ってはいけません。
そこには、放蕩があるからです。

むしろ、**御霊に満たされなさい。**

詩と賛美と霊の歌をもって互いに語り合い
主に向かって心から賛美し、歌いなさい。

いつでも、すべてのことについて
私たちの主イエス・キリストの名によって
父である神に感謝しなさい。

キリストを恐れて、互いに従い合いなさい。

（人間の）大祭司は

自分自身も弱さを

身にまもっているの

無知で、迷っている人々に

優しく接する（思いやる）ことができてきます。

Ⅲ. イエス・キリストは、より優れた同情を示された
(5:2、7~8)

A. 大祭司となる条件 「同情・思いやり」(2)

B. 大祭司なる、イエス・キリストの模範(7~8)

① イエス・キリストは、人となられた(受肉)

大祭司は、自分自身も弱さを
身にまもっているの

で、迷っている人々に

優しく接する(思いやる)ことができます。

(3〜6節 省略)

キリストは、肉体をもって生きている間
自分を死から救い出すことができる方に
向かって

大きな叫び声と涙をもって

祈りと願いをささげ

その敬虔のゆえに、聞き入れられました。

キリストは、御子であられるのに

お受けになった様々な苦しみによって

従順を学び…

キリストは、**肉体をもつて生きている間**

自分を死から救い出すことができるときに
向かつて

大きな叫び声と涙をもって

祈りと願いをささげ

その敬虔のゆえに、聞き入れられました。

キリストは、御子であられるのに

お受けになった様々な苦しみによって

従順を学び…

そういうわけで

子たちがみな、血と肉を持っているので

イエスもまた、**同じように**

それらのものを、お持ちになりました。

へブル2章14節

① キリストは、身体的・精神的に成長されたイエスは、神と人といつくしまれ
知恵が増し加わり、背たけも伸びていった。

ルカ2章52節

② キリストは、渇き、疲れを覚えられた

イエスは旅の疲れから、その井戸の傍らにただ座っておられた。

一人のサマリアの女が、水を汲みに来た。イエスは彼女に、

「わたしに、水を飲ませてください」と言われた。

③ キリストは、空腹を覚えられた

そして、四十日四十夜、断食をし
その後で、空腹を覚えられた。

マタイ 4章 2節

④ キリストは、泣かれた

「彼をどこに置きましたか」と言われた。
彼らはイエスに「主よ、来てご覧ください」
と言った。

イエスは、涙を流された。

ユダヤ人たちは言った。「ご覧なさい。

どんなにラザロを愛しておられたことか。」

ヨハネ 11章 34〜36節

Ⅲ. イエス・キリストは、より優れた同情を示された (5:2、7~8)

A. 大祭司となる条件 「同情・思いやり」

B. 大祭司なる、イエス・キリストの模範

① イエス・キリストは、人となられた(受肉)

② イエス・キリストは、祈られた

キリストは、肉体をもって生きている間

自分を死から救い出すことができる方に
向かって

大きな叫び声と涙をもって

祈りと願いをささげ

その敬虔のゆえに、聞き入れられました。

キリストは、御子であられるのに

お受けになった様々な苦しみによって

従順を学び…

そして、ご自分は弟子たちから離れて石を投げて届くほどのところに行き、ひざまずいて、祈られた。

「父よ、みこころなら

この杯をわたしから取り去ってください。しかし、わたしの願いではなくみこころがなりますように。」

すると、御使いが、天から現れてイエスをカづけた。

イエスは、**苦しみもだえて**

いよいよ切に、祈られた。

汗が、血のしずくのように地に落ちた。

ルカ 22章 41〜44節

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて、寂しいところに出かけて行きそこで、**祈っておられた。**

マルコ一章35節

しかし、イエスのうわさはますます広まり大勢の群衆が話を聞くために、また病気を癒やしてもらうために集まって来た。

だが、イエスご自身は

寂しいところに退いて、**祈っておられた。**

ルカ5章15〜16節

そのころ、イエスは、**祈るために山に行き**
神に祈りながら、夜を明かされた。

そして、夜が明けると弟子たちを呼び寄せ
その中から十二人を選び
彼らに、使徒という名をお与えになった。

ルカ 6章 12 ～ 13節

人々はみな、食べて満腹した。
そして余ったパン切れを集めると
十二かごあった。

さて、イエスが一人で**祈っておられたとき**
弟子たちも一緒にいた。

ルカ 9章 17 ～ 18節

これらのことを教えてから、八日ほどしてイエスは、ペテロとヨハネとヤコブを連れて**祈るために、**山に登られた。

祈っておられると、その御顔の様子が変わり、その衣は、白く光り輝いた。

ルカ9章28〜29節

さて、イエスはある場所で、**祈っておられた。**祈りが終わると弟子の一人が、イエスに言った。

「主よ。ヨハネが弟子たちに教えたように私たちにも祈りを教えてください。」

ルカ――章――節

シモン、シモン。見なさい。

サタンがあなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って、聞き届けられました。

しかし、わたしはあなたのために、あなたの信仰がなくならないように、**祈りました。**ですから、あなたは立ち直ったら兄弟たちを力づけてやりなさい。」

ルカ 22章 31〜32節

そのとき、イエスは、こう言われた。

「父よ、彼らをお赦してください。

彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」

ルカ 23章 34節

さて、民がみなバプテスマを受けていたところ
イエスも、**バプテスマを受けられた。**

そして、**祈っておられると、天が開け**

聖霊が鳩のような形をして、イエスの上に
降って来られた。すると、天から声がした。

「あなたはわたしの愛する子。

わたしはあなたを喜ぶ。」

ルカ 3章 21〜22節

イエスは、大声で叫ばれた。

「父よ

わたしの霊をあなたの御手にゆだねます。」

こう言って、息を引き取られた。

ルカ 23章 46節

Ⅲ. イエス・キリストは、より優れた同情を示された (5:2、7~8)

A. 大祭司となる条件「同情・思いやり」

B. 大祭司なる、イエス・キリストの模範

- ① イエス・キリストは、人となられた(受肉)
- ② イエス・キリストは、祈られた
- ③ イエス・キリストは、**従順**を学ばれた

キリストは、肉体をもって生きている間

自分を死から救い出すことができるときに
向かって

大きな叫び声と涙をもって

祈りと願いをささげ

その敬虔のゆえに、聞き入れられました。

キリストは、御子であられるのに

お受けになった様々な苦しみによって
従順を学び…

キリストは、神の御姿であられるのに
神としてのあり方を捨てられないとは
考えず

ご自分を空しくして、しもべの姿をとり
人間と同じようになられました。

人としての姿をもって現れ

自らを低くして、**死にまで（従い）**

それも、十字架の**死にまで従われました。**

ピリピ2章6〜8節

苦しみにあったことは
私にとって幸せでした。
それにより

私は、あなたのおきてを**学びました。**

あなたの御口のみおしえは
私にとって、幾千もの金銀にまさります。

詩篇 119 篇 71 ～ 72 節

本日のすすめ

神に仕える祭司として、同情・あわれみの心を
イエス・キリストより、学び続けましょう

祈りを愛し、習慣とし、絶えず祈り続けましょう

苦しみに感謝し、苦しみより、教えられ
神に従うことを、学びましょう